

機械器具 51 医療用嘴管及び体液誘導管  
一般医療機器 カテーテル固定用パッチ(JMDNコード:70328000)

## チューブ固定バリア

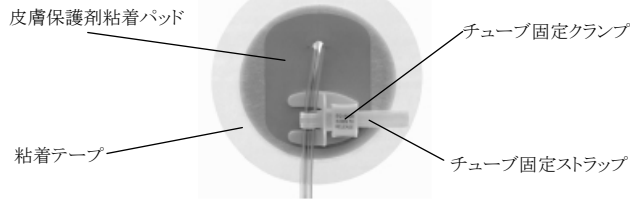
### 再使用禁止

#### 【禁忌・禁止】 ・再使用禁止

#### 【形状・構造等及び原理等】

本品はガンマ線滅菌済みである。

#### （各部の名称）



#### （構成部品の原材料）

チューブ固定クランプ：ポリプロピレン

チューブ固定ストラップ：ポリプロピレン

皮膚保護剤粘着パッド：ハイドロコロイド

粘着テープ：不織布・アクリル接着剤

使用可能なチューブ等のサイズ 5～40 Fr

#### 【使用目的又は効果】

チューブ、カテーテル等の固定

#### 【使用方法等】

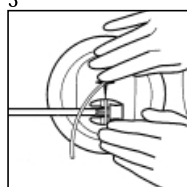
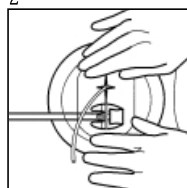
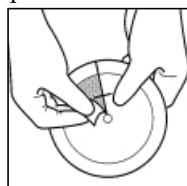
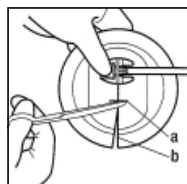
##### （装着の前に）

患者の皮膚を石鹸水で洗い、よくすすいで完全に乾かす。

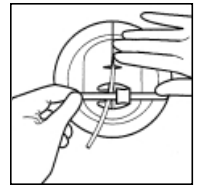
粘着パッドの接着力が損なわれることがあるので、ローションやクリームは使用しないこと。

##### （装着方法）

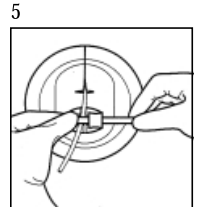
1. 清潔操作により、粘着パッドのスリット(b)に直角にクロスカット(a)を入れる(右図1)。固定するチューブが太くなる程、クロスカットは固定クランプから離れた位置に入れる。チューブ周囲へのより良い密着のため、必要に応じて粘着パッドを切り抜く。
2. 粘着パッドの裏側から剥離紙をはがす(右図2)。このとき、粘着テープの剥離紙を剥がさないように注意する。
3. チューブを粘着パッドのスリットを通してクロスカットにはめる(右図3)。本品を、固定クランプがチューブ挿入部よりも下になるように位置決めをして置く。
4. そのまま粘着パッドを皮膚に対して優しく、しっかりと押さえ、しわが生じないように注意して貼付する(右図4)。次に、粘着パッド周囲の粘着テープから剥離紙を剥がし皮膚に貼り付ける。



5. チューブが折れないように注意して固定ストラップの上に置く。固定ストラップをつまみ、チューブの上を越えて先端を固定クランプのスリットに通す(右図5)。

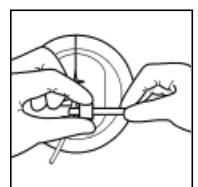


6. 固定ストラップを引き続き送り込むと同時に、先端を引っ張ることによって、固定ストラップがチューブにあたり、わずかに圧す程度に締める(右図6)。このとき、本品自体が動いてしまわないように注意する。

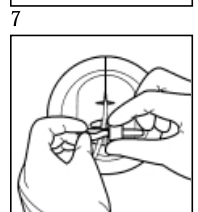


##### （取り外し）

7. 固定クランプの本体部をつまみ、強く押えながら、固定ストラップを押し戻して緩める(右図7)。さらに固定ストラップを引き出し、固定クランプから完全に外す(右図8)。



8. まずクロスカットの部分から始めて、粘着パッドと粘着テープをチューブ周囲と皮膚から優しく剥がす。チューブを片方の手で保持しながら、一方の手で本品を取り外す。



#### 【使用上の注意】

- 装着時に、固定ストラップを強く引っ張りすぎると、チューブをつぶし閉塞することがあるので注意すること。

#### 【保管方法及び有効期間等】

##### （保管方法）

水ぬれに注意し、直射日光及び高温多湿、凍結を避けて保管すること。

##### （使用期限）

使用期限は個包装に記載[自己認証(当社データ)による]

#### 【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者：株式会社ホリスター

製造業者：ホリスター社(米国)

Hollister Incorporated (USA)